



よくやった！ 新潟国体第3位

「日本一」を夢に掲げ、努力し続けてきた硬式野球部。その集大成となるトキめき新潟国体は、2回戦からの出場。奇しくも、夏の選手権大会全国制覇を成し遂げた中京大学附属中京高等学校との対戦。遂に、立ちはだかる厚い高い壁を乗り越え殊勲の勝利。これで今年の全国大会における勝ち星「日本一」を達成した。



市民栄誉賞授与式が挙行される

県民栄誉賞の受賞に引き続き、市民栄誉賞の授与式が挙行された。会場となった市文化会館には、開始時間の相当前から大勢の花巻市民が整理券を手にして、選手を一目見ようと詰め掛けた。授与式では、大石満雄花巻市長より川村悠真主将に市民栄誉賞の賞状が贈られ、栄誉を称えていただいた。



野球部から5年連続岩手大学へ！

合格した川村悠真君は、文武両道を目指し本校へ入学。学業と野球部の厳しい練習に耐え、3年次は主将として部員をまとめ上げ、ご存知の大活躍。岩手大学では教育学部に学び、将来は高校教師となって野球部を指導し、佐々木先生率いる母校との対戦を夢見る。「立志 夢実現教育」は、はつらつ花巻東の旗印。



野球部、県民栄誉賞表彰式に臨む

まさに秋晴れの日、県知事公館において、硬式野球部の甲子園大会での活躍に対し、岩手県県民栄誉賞の表彰式が挙行され、遠増拓也岩手県知事より授与された。

表彰理由には、準優勝およびベスト4という快挙を成し遂げ、岩手の誇りとして県民に深い感動を与えたとあったが、たいへん栄誉なことである。



菊池君 西武球団から指名される

運命を左右するプロ野球ドラフト会議が開催され、菊池雄星君が6球団から1位指名を受け、抽選の結果埼玉西武ライオンズ球団が交渉権を獲得することになった。

決定後、菊池君は取材を受け「日本中の人に認められる投手になりたい。」と話し、その後待ち構えていた野球部員による祝福の胴上げに舞った。